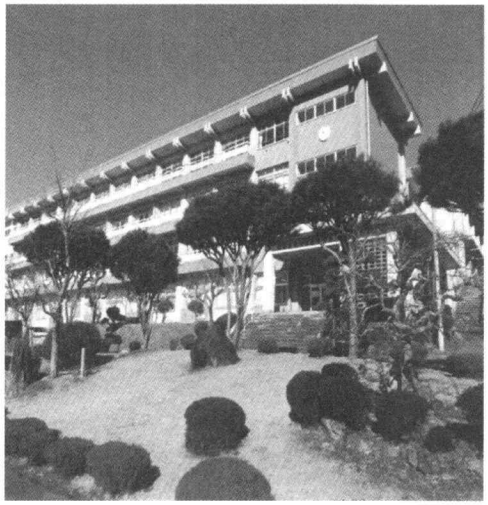
県立 川俣高等学校

校章

〒960-1401 伊達郡川俣町飯坂字諏訪山1
☎024（566）2121㈹
fax 024（565）4138
https://www.kawamata-h.fks.ed.jp
校長／半谷佳之

教職員数＝三一
生徒数＝五一（男子31、女子20）
普通科　一年　二四　二年　一五　三年　一二

校章由来　本校の前身である川俣町立染織補習学校の敷地内に立派な楓の木があって、この楓を学校のシンボルとした。校章は、楓の葉をデザインしたものである。



■校歌

作詞／渡辺三郎
作曲／岡本敏明

一、あまねくみつる　光をあびて
　いういう雲の　浮かべるところ
　知性の青さ　深くぞとほる
　かえでのしをり　かをれよわれら

■沿革

明治41年　川俣町立染織補習学校創立
大正6年　福島県川俣実科高等女学校に改称
昭和3年　福島県立川俣工業学校と改称
昭和18年　川俣実科高等女学校を福島県川俣高等女学校と改称
昭和23年　学制改革により川俣高等女学校と合併し、県立川俣高等学校と称する定時制課程併置
昭和28年　定時制課程普通科の開設認可（～昭和62年）
昭和38年　染織科の名称を繊維工業科と改称
昭和48年　色染科を色染化学科に、紡織科を繊維工学科に名称変更
昭和60年　繊維工業科、電子科を新設
平成3年　繊維工業科を高分子技術科に名称変更
平成12年　高分子技術科募集停止
平成15年　電子科募集停止
平成20年　創立百周年記念式典挙行
平成30年　創立百十周年記念式典挙行
令和2年　機械科募集停止

■学校概要

本校は創立116年の歴史をもつ県内有数の伝統のある高校である。本校の教育方針は、豊かな教育を身につけ、進んで責任をはたす立派な社会人の育成をはかることを目標とする。

■施設

校地面積　七三、四八二㎡
建物面積　一五、八一二㎡

■行事

10月修学旅行・遠足、11月かえで祭（スポーツ大会）

■校風

「謙譲」と「忍耐」の校訓のもと、「確かな学力」「進路の実現」「健全な心身」「地域との連携」を教育目標とし、地域で育つ人間の育成に努める。

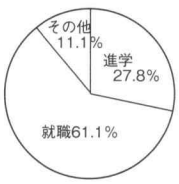
1　確かな学力を育みます。
2　進路実現を支援します。
3　豊かな心を育みます。
4　地域との連携を図ります。

■部活動の状況

●運動部＝バドミントン、ハンドボール、ウエイトリフティング、フェンシング
●文化部＝JRC同好会
●部活動の活躍（令和5年度）
【フェンシング部】全国高等学校総合体育大会　出場（男子個人フルーレ・サーブル、男子団体）欧州カデサーキット　スペイン・バルセロナ大会　出場

■進学・就職状況（令和五年三月卒業）

●主な進学先（人数）
私立大（1）＝東北文化学園大
短大（1）＝福島学院大短部
各種専門学校（3）＝大原看護専、新潟コンピュータ専、仙台ヘアメイク専



●主な就職先（県内11名）
アサヒ通信2、ダイユーエイト、NITTOKU、川俣精機、古俣工務店、ハシドラッグ、グリム、エナジー、日ピス福島製造所、信達福祉会、いちい

■全生徒の主な出身中学校（5年度）（）内新入生数
一、川俣中学校30名(15)　二、飯野中学校8名(1)
三、月舘学園5名(2)　四、福島一中学校2名(2)
四、いいたて希望の里学園2名(1)
六、岳陽中学校1名(0)　六、西信中学校1名(1)
六、山木屋中学校1名(1)　六、小浜中学校1名(1)

■学校をとりまく環境

伊達郡の南部、川俣町にあり、川俣町は全国に織物の町としてしられている。本校は、町を見下ろす高台にあり、西に安達太良山を遠望する恵まれた自然環境にある。令和2年度より機械科が募集停止となり、一クラス本校化の学校としてスタートを切っている。普通科であるが、工業コース、商業コースを設けており、それぞれの科目が選択できる。また、進学を目標とする生徒には、国語、数学、英語の授業を選択科目として設定している。令和三年度よりコミュニテースクールとして学校運営を行い、地域と共にある学校を目指している。

就職・資格・デビューへ一直線
6カレッジ99の専門分野
日本工学院
蒲田キャンパス　0120-123-351
八王子キャンパス　0120-444-700
クリエイターズカレッジ　デザインカレッジ　ミュージックカレッジ
ITカレッジ　テクノロジーカレッジ　スポーツ・医療カレッジ

KUMON
教科：算数・数学・英語・国語
対象：幼児・小学生・中学生・高校生以上
公文式 川俣・飯舘教室
指導者 井上和枝
〒960-1453 伊達郡川俣町瓦町45
TEL024-573-7125　携帯：090-2363-3407

内科・消化器科・呼吸器科・循環器科
鈴木内科医院
院長 鈴木　秀
伊達郡川俣町字新中町21-3
☎ 024-565-2688㈹
FAX024-565-2695